

# 東方青龍

とうほうせいりゅう(Green Dragon)

伊勢崎市立あずま中学校  
学校通信 NO.302  
令和6年7月5日(金)



ボランティア部の発表から

## 避難訓練・防災講演会から

期末テストが終わった6月26日の午後、5校時に避難訓練が行われました。地震の発生を想定し、全校生徒が教室からテニスコート東側に避難し、速やかに整列して人数確認をするまでの訓練を行いました。その後、体育館に移動し、群馬大学の金井教授による防災講演会を聴きました。暑い体育館の中でしたが、生徒は真剣に話を聞き、問いかけに対して積極的に答えたり周囲の生徒と相談したりして、大変有意義な時間を過ごしました。

何よりも大切なことは「命を守る」ということ。そのために、地震発生時にはまず「頭を守る」、そして「自分だけでなく周囲の人の安全を確保する」。実際の災害の時は訓練と避難経路が異なる場合も考えられるため「自分自身で考えて行動する」ことが極めて大切であり、いざというときに行動できるように「普段から気をつける」など、非常に重要なことをたくさん学ぶことができました。

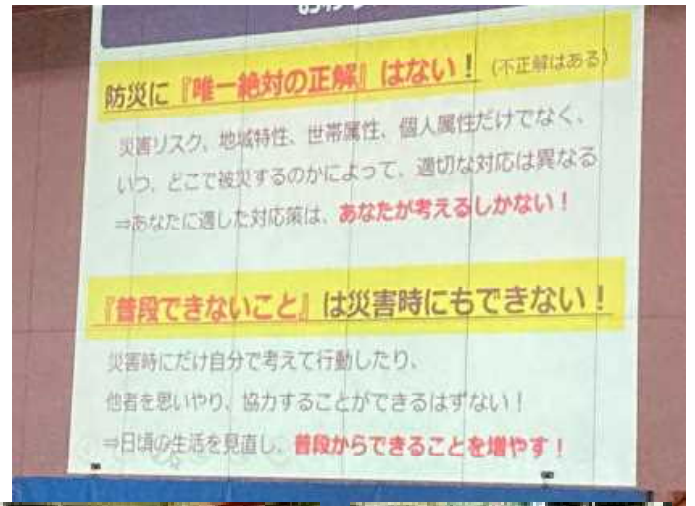


講師の金井教授



豊富なスライドが提示されました

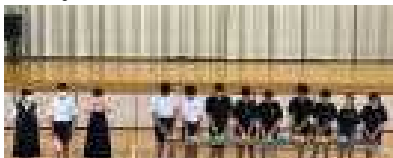
生徒だけでなく、訓練を設定する我々教職員にとっても、貴重な学びの機会となりました。非常時に適切な行動がとれるように、普段から気をつけて生活したいものです。



問いかけに答えたり、相談したり

## ボランティア部の発表

コロナ禍で慰問活動が制限されていたボランティア部が、日頃の活動の成果を発表するために、7月2・3日の昼休みを使って、体育館で発表会を行いました。大勢の生徒が集まって、ハンドベルの演奏やダンスの披露を鑑賞しました。



# 県大会激励会

7月4日（木）の午後を使って、県大会に出場する選手の激励会を行いました。当初、市総体の賞状伝達をしてから激励会を行う予定でしたが、猛暑のために賞状伝達は延期とし、激励会も涼しい環境を確保するためにリモート形式で行いました。選手は会議室で順番に決意表明を行い、生徒は各教室からモニター越しに声援を送りました。過去の表彰もそうでしたが、モニターを通じた映像に対しても大きな拍手や声援を送るところが、本校生徒の素晴らしいところです。熱中症やケガに十分注意しながら、県大会でも存分に力を発揮してもらいたいと思います。



会議室で発表する選手と 進行する生徒会本部役員



発表順を待つ選手たち

生徒は教室から声援を送ります

県大会出場者も、惜しくも負けてしまった生徒も、結果はどうあれ、全力を尽くし戦った姿は、仲間や親、全ての人に感動を与えてくれました。ありがとうございます。だからこそ、自分自身をたくさんほめてあげてください。自分を誇りに思ってください。

先生も幾つかの会場で応援させてもらい、あずま中の強さを2つ見つけました。

1つめは、最後まであきらめない粘り強さ。どんなに離されても、最後まで全力で戦えること。

2つめは、どこのチームよりも大きな声が出ていたこと。これは、他の中学校の先生からも「あずま中の応援はすごい恐怖です。空気を一瞬で変えるすごい力ですね。」とたくさんほめてもらいました。

そこで、これから県大会に臨むみなさんに対して、3つエールを送ります。

1つめは、最後の最後まで粘り強く戦ってほしいこと。

2つめは、会場の空気を変える大きな声を出してほしいこと。

3つめは、勝ちたいと、全員の気持ちが一つになること。

今週の土曜日からはじまる大会で、最高のプレーを期待しています。

教頭先生の激励の言葉（抜粋）